

# 鶴岡市立荘内病院経営強化プラン（案）に対する意見公募の結果

## 1 概要

### (1) 募集期間

令和6年2月22日から令和6年3月13日

### (2) 意見提出者

1名（意見総数 7件）

## 2 いただいたご意見への対応状況

分類	対応状況	意見数
賛同	プラン案に対して同趣旨の意見、賛同いただいたもの	1件
修正	ご意見を参考にプラン案を修正したもの	1件
参考	プラン案の策定に対し参考とさせていただいたもの	5件
合 計		7件

## 3 意見とそれに対する市の考え方

○ご意見の内容により分類して掲載しております。

○ご意見については原文のまま掲載しております。

### (1) プラン案に対して同趣旨及び賛同いただいたもの

No.	いただいたご意見	分類	ご意見に対する市の考え方
1	<p>2024年4月から医師の働き方改革が施行され、薬剤師にもタスクシフト/シェアの指針が出され、準備を進めており、病院薬剤師数が必要な状況です。一方、地域の少子化による高校生減少のなか、就学年数が6年、加えて必要な資金（授業料、生活費など）が必要となります。就職後の初任給と給与生涯賃金は学歴に見合うか、学生側からみた魅力のある就職先、専門資格になるか不明です。また、資格取得者には、鶴岡市を生活拠点として就活時の選択できるよう、ワークライフバランスがとれた職場としてアピールも重要です。</p> <p>令和5年厚生労働省が病院薬剤師偏在について調査し、将来的（2036年）にも伸び悩んでいる状況が公表されました。</p> <p>山形県において病院薬剤師の偏在について認識しており、『山形県病院薬剤師奨学金返還支援金貸与予定者の募集』などの事業を進めております。</p> <p>令和6年度～令和9年度の4年間の事業の中に「薬剤師」を明記して、薬剤師確保・定着につなげる事業を進め、経営強化につなげていきます。</p>	賛同	<p>鶴岡市を生活拠点として就活時に選択できるよう、ワークライフバランスがとれた職場としてアピールの重要性、病院薬剤師確保・定着につながる事業の推進についてご意見をいただきました。</p> <p>荘内病院経営強化プランの人材確保の取組において薬剤師確保については、実習生の受入れとともにオープンホスピタルでの病院薬剤師の仕事体験や「山形県病院薬剤師奨学金返還支援金貸与制度」の活用なども案内しております。今後も情報発信に努め病院薬剤師の確保、定着につながる取組を推進してまいります。</p>

(2) ご意見を参考にプラン案を修正したもの

No.	いただいたご意見	分類	ご意見に対する市の考え方
2	<p>*2 IT:「Information Technology (情報技術)」</p> <p>*3 AI:「Artificial Intelligence (人工知能)」</p> <p>*8 地域完結型医療とは、医療機関の担当する分野を区分し、その担当分野に専念できるようお互いに連携する仕組みです。</p> <p>DX: Digital Transformation(デジタルによる(ビジネスや生活)の変容)</p>	修正	<p>P3 脚注についてご意見をいただきました。</p> <p>ご意見を参考に本文中 ③医療分野でのデジタル化の推進 「AI」を「AI (人工知能)」と修正します。</p> <p>IT、地域完結型医療、DXについては文章中の表現からもご理解いただけるものとしております。</p>

(3) プラン案の策定に対して参考とさせていただいたもの

No.	いただいたご意見	分類	ご意見に対する市の考え方
3	<p>○「薬剤師」の明記等に関していただいたご意見</p> <p>(P1 第1章 鶴岡市立荘内病院経営強化プランの策定)</p> <p>1 プラン策定の趣旨</p> <p>一方で、医師と<b>薬剤師</b><sup>1</sup>の偏在化や医療従事者確保の問題をはじめ、人口減少、少子高齢化などによる急速な医療需要の変化、医療の高度化といった経営環境の変化への対応など、地域の基幹病院として医療提供体制の維持、経営の安定化が課題となっています。</p> <p>国では、同様の課題を多くの公立病院が抱えていることや新興感染症の拡大時に果たした役割の重要性が改めて認識されたことなどから、</p> <p>(1) 役割・機能の最適化と連携の強化 (2) 医師・看護師・<b>薬剤師</b>等の確保と働き方改革 (3) 経営形態の見直し</p> <p>P11 (3) 機能分化・連携強化 持続可能な医療提供体制を確保するためには、限られた医師、看護師・<b>薬剤師</b>等の医療資源を地域全体で最大限効率的に活用する必要があります。</p> <p>P13 2 医師・看護師・<b>薬剤師</b>等の確保と働き方改革 (1) 医師・看護師・<b>薬剤師</b>等の確保</p> <p>P17 ④経営の安定性に係るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材の確保</li> <li>医師確保</li> <li>看護師、<b>薬剤師</b><sup>3,4</sup>をはじめとした医療従事者の確保</li> </ul>	参考	<p>「薬剤師」の明記等に対してご意見をいただきました。</p> <p>薬剤師のみならず、医療従事者の確保の問題は、P3②医療従事者の確保問題としてとらえており、職種の記載については、総合計画に合わせた表記、または、国の示した「持続可能な地域医療体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」合わせた表記としております。</p> <p>計画に対するご期待と捉え薬剤師、技士の確保についても引き続き取り組んでまいります。</p>

No.	いただいたご意見	分類	ご意見に対する市の考え方
	<p>参考</p> <p>3 令和6年度山形県病院薬剤師奨学金返還支援金貸与予定者の募集</p> <p>4 山形新聞 病院薬剤師の確保へ、対策は？ 山形「薬学部設置」など議論</p> <p>P13 …新たな大学との連携強化や国立がん研究センター東病院との医療連携を生かした研修内容の充実など、医師確保に取り組みます。  <b>薬剤師は、薬局薬剤師が0.91であるのに対し病院薬剤師は0.60となっており、特に病院薬剤師数が少なく、将来時点においても病院薬剤師は0.69となっており偏在解消には至らない状況です。</b></p>	<p>参考</p>	<p>P13 薬剤師の状況について文章中に追記のご意見をいただきました。</p> <p>山形県の薬剤師の状況の内容であり、今後の荘内病院薬剤師確保の推進において参考とさせていただきます。</p>
<p>4</p>	<p>P10 …引き続き、がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病等<sup>3</sup>、感染症について医療提供を行うとともに、高齢化に伴う認知症患者の急性期治療が増加傾向にあることから、…</p> <p>2 薬生総発 0609 第2号令和5年6月9日厚生労働省医薬・生活衛生局総務課長通知</p> <p>3 糖尿病等：糖尿病及び慢性腎臓病（CKD）</p>	<p>参考</p>	<p>P10 「糖尿病等」の分類の確認と脚注についてのご意見をいただきました。</p> <p>山形県の保健医療計画の地域における「医療連携体制」の主なものについて記載をしております。糖尿病等の等はその他の疾病という意味での広い解釈での表現としています。</p>
<p>5</p>	<p>P10 新興感染症対応では、重点医療機関として病床確保、患者の受入れなど、地域の医療機関と連携しながら、公立の<b>基幹</b>病院としての役割を果たしてきました。</p>	<p>参考</p>	<p>P10 「公立病院」の表記について「公立の基幹病院」としてはとのご意見をいただきました。</p> <p>公立病院全体の役割と捉えた表現としております。</p>
<p>6</p>	<p>P14 4 新興感染症（<b>再興感染症を含む</b>）<sup>※1</sup>の感染拡大時等に備えた平時からの取組</p> <p>P17 ・新興感染症（<b>再興感染症を含む</b>）<sup>※1</sup>の感染拡大時等に備えた平時からの取組</p>	<p>参考</p>	<p>P14、P17（再興感染症を含む）<sup>※1</sup>の文字の追記のご意見をいただきました。</p> <p>同ガイドラインの取組項目に合わせ「新興感染症の感染拡大時等」としているものです。</p> <p>再興感染症については、感染対策として、医療安全で取り組んでおり、今後とも感染拡大の防止に努めてまいります。</p>

No.	いただいたご意見	分類	ご意見に対する市の考え方
7	P17 ①収支改善に係るもの ・病院経営の健全化 職員給与費の適切なベースアップ	<b>参考</b>	P17 ①収支改善に係るもの ・病院経営の健全化 具体的取組項目に職員給与費の適切なベースアップを加えてはどうかのご意見をいただきました。  職員給与費につきましては、人事院勧告を基本に随時見直し行っており、他の自治体等との均衡に配慮しつつ算定しております。引き続き適正な給与水準の維持に努めてまいります。